

第4回 JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会 [整備検討案のとりまとめ]

笠岡市 建設部 都市計画課

平成31年3月19日

※本資料は、本委員会での検討を目的としたものであり、地権者・事業者等の調整が未了の中で検討したものであることに留意し、取扱いには、注意をお願いします。

笠岡駅及び駅周辺の整備方針(見直し案)

＜課題と特徴＞

- ・鉄道や国道2号により南北市街地の往来に支障がある(横断箇所は踏切やバリアフリー未対応の地下道等の3箇所に限られ迂回が必要である。また、地下道は大雨により冠水する場合がある)
- ・広域道路ネットワークである国道2号のある駅南側から駅へのアクセスが悪い(西ノ浜交差点経由で駅に至るまでに5分程度のロスが生じる)
- ・駅前広場が北側のみであることと、一般車乗降機能が不足していることにより、夕方のピーク時を中心に一般車の送迎車が駅前広場及び周辺道路まであふれている状況がみられる
- ・駅周辺に時間貸駐車場はあるが、利便性等の問題から慢性的に路上駐車状況が見られる。
- ・駅から港への動線がバリアフリー未対応の地下道のみで分かりにくく、特に観光客には乗り継ぎ利便性が低い
- ・地域活力が低下しているが、高校生が主体となって駅前にイルミネーションを設置するなど、新たな賑わいが生まれつつある
- ・現在の駅舎は、岡山方面へ行く場合、改札を入るとすぐ電車に乗れるので非常に便利が良い



＜整備方針(案)＞

◎南北市街地の一体化推進

- 南北自由通路の整備
- デッキの整備

◎駅南からのアクセス改善

- 駅施設の整備・改良
- 南口改札の新設

◎交通結節機能の強化

- 南口広場の整備
- 駐車場・駐輪場の整備

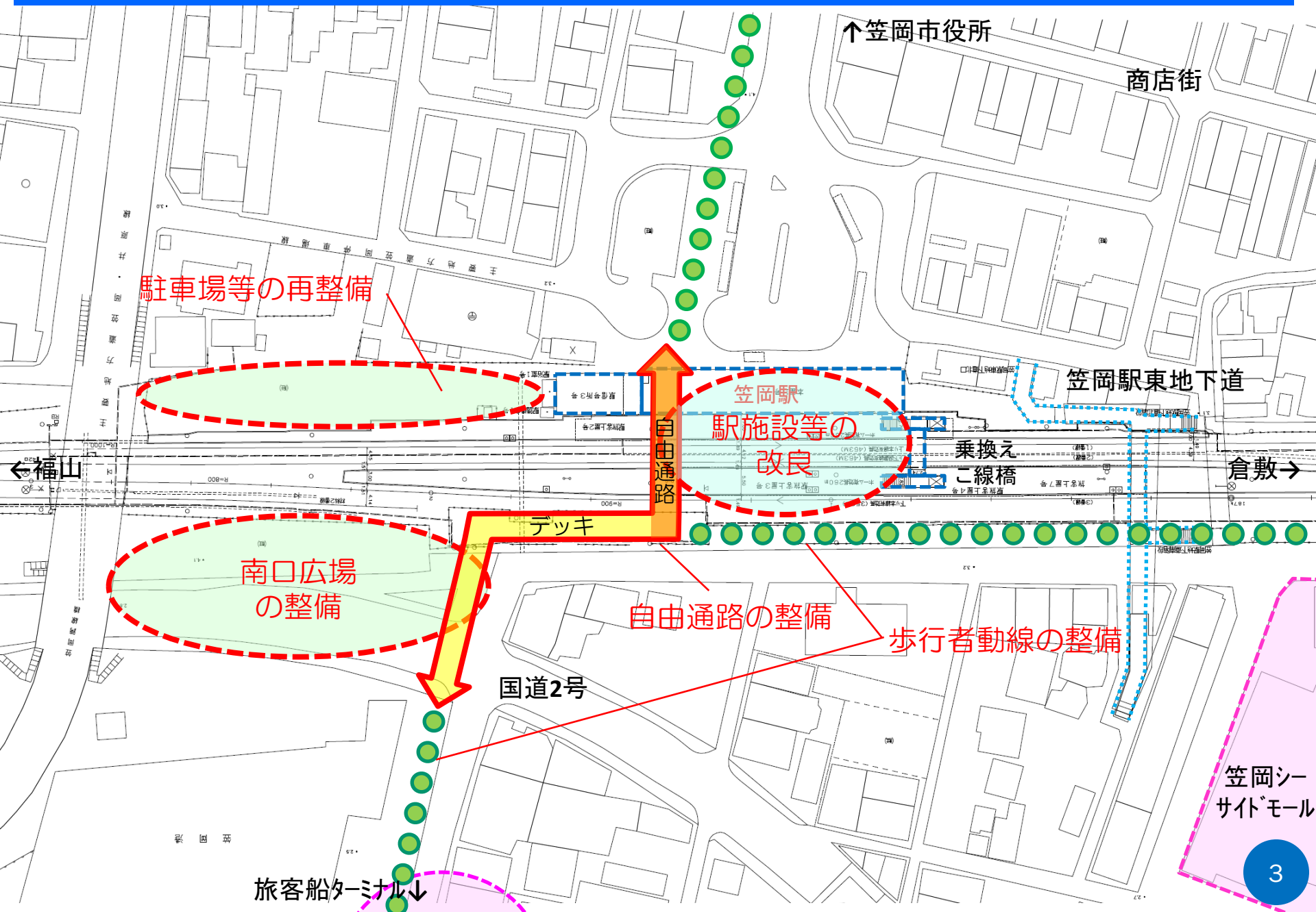
◎駅と港・商店街等との連携強化

- 歩行者動線の整備
- 回遊性向上の仕組みづくり
- バス路線の検討

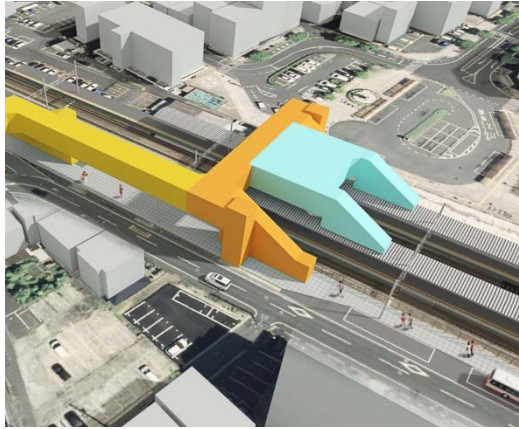
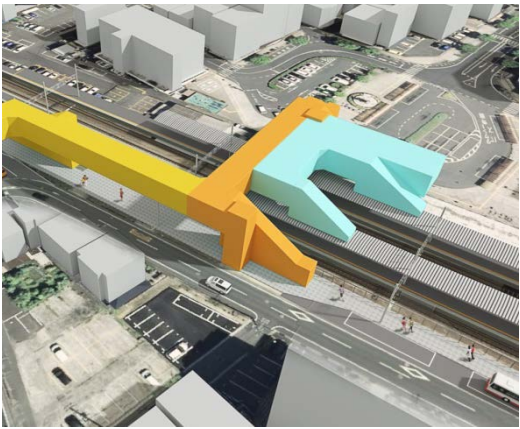
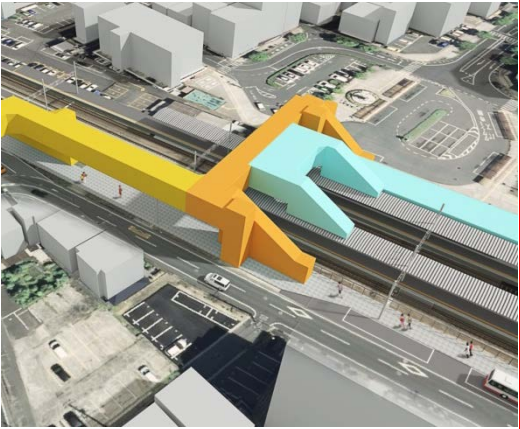
◎駅周辺のにぎわい創出、地域情報発信

- 各種まちづくり事業の推進(別途)
- 官民連携事業等の模索

笠岡駅及び駅周辺の整備方針(見直し案)



整備検討案の比較・検討

		案②		案③		案⑤	
		橋上駅舎整備案		簡易橋上駅舎整備案		自由通路+南口改札新設案	
整備イメージ							
概算工事費※1		約40～35億円		約35～30億円		約25～20億円	
評価	機能性	・駅・駅前広場の機能が向上し、街の課題も解消	○	・同左	○	・同左	○
	利便性	・南側の利便性は向上するが、南北とも階段の昇降が必要	○	・南側の利便性は向上するが、南北とも階段の昇降が必要で、南は一部迂回も必要	○	・南側の利便性は向上し、北側からの利便性も維持可能	◎
	事業費	・3案の中で最も高価	△	・案②橋上駅舎整備案より若干安いと同程度	△	・3案の中で最も安価	○
	工期	・3案の中で最も長い	△	・同左	△	・3案の中で最も短い	○
	維持管理	・施設規模が大きく維持管理費也大	△	・同左	△	・施設規模は小さいが改札が2つとなる	△
	その他		—	・都市側機能の導入も可能	○	・段階的な整備にも対応可能	○
総合評価		△		○		◎	

※1 類似事例による超概算工事費であり要精査(デッキ、用地費等を除く)

整備方針の見直し(案)

以上より、笠岡駅周辺整備については費用対効果を鑑みて、以下のように整備内容および整備時期を2段階に分けて整備することを基本とする。なお、駅改良については、各案の比較検討結果から案⑤「南口改札新設案」の方針で進めることとする。ただし、JR西日本との協議や補助事業の適用等を検討しながら精査する。

	整備内容	整備時期イメージ
駅周辺 整備	・自由通路(約500m²) ・南口改札新設 ・南口広場整備(約3,600m²) ・既存駅舎改修 ・既存こ線橋撤去	基本構想のプロジェクト展開による各段階の内容を踏まえて計画の深度化を図り、関係機関との協議が整い次第、適切な財源の確保に努め整備を実施する
関連 整備	・デッキ整備 ・周辺歩道整備	周辺のまちづくり状況や社会情勢変化等を鑑みながら長期的な整備として位置づける

今後の検討事項について(見直し案)

本検討委員会として案⑤(自由通路+南口改札新設案)という方針でとりまとめるものの、実現に向けて今後の検討事項は以下の通りであり、ご意見を頂戴したい

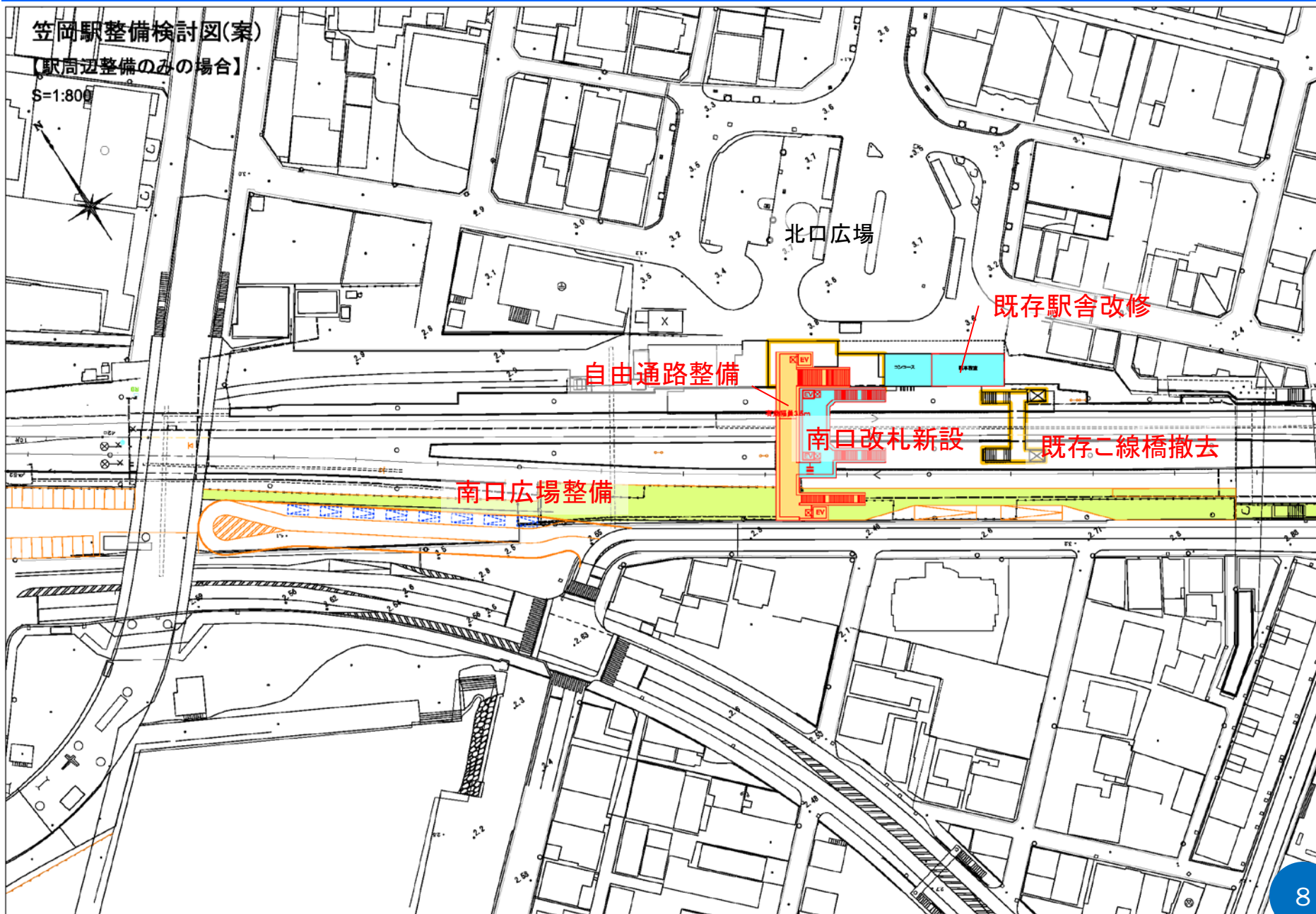
	検討事項	
駅周辺整備について	駅利用実態把握	・現状と将来の駅利用者の実態を詳細に把握すること(例、港⇒駅の利用実態) ・公共交通利用者等の意見を把握すること(利用者アンケート等の実施)
	自由通路	・設置にあたっては、駅周辺の回遊性等を考慮すること
	駅改良	・まちづくりの方針に基づいて、関係機関との協議・整備案の検討を行うこと
	南口広場	・南口広場の位置、規模等については、利用者の利便性確保のための官有地等のみでなく民地を含めて幅広く検討すること ・周辺の主要施設(港、商業施設など)への歩行者動線を確保すること ・南口からの一部路線バスの発着について検討すること
関連整備について	デッキ	・多額の費用が想定されるため費用対効果及び整備時期を整理すること
	歩道整備	・周辺整備との整合性を図りながら歩車分離による安全性を確保すること
その他について	・市の財政負担の軽減を検討すること(補助事業の適用、工事費の縮減等) ・駅周辺のにぎわい創生や南北の回遊性向上をはじめ、周辺の条件の変化や新たな要素が加わった場合等は、状況に応じて最適な案を検討すること ・駅周辺駐車場の利用実態を把握すること ・賑わい創生事業と連携して検討すること(資料7ページ)	

笠岡駅周辺に関するにぎわい創生事業での主な意見

笠岡駅周辺整備基本構想の第一段階として実施されている、にぎわい創生事業でのまちづくりに関わる「活動主体」「活動サポーター」等を対象としたヒアリングでは笠岡駅周辺のにぎわいに関して以下のような意見も聞かれた

	意見内容
1	笠岡駅前広場のスペースが狭く活用しにくい
2	笠岡駅周辺にレンタカーや時間貸し駐車場、宿泊施設がなく、諸島観光等の観光の拠点となりにくい
3	駅前広場や商店街への車の乗り入れの制限をしてほしい
4	諸島観光によるにぎわいを創出するため、笠岡駅から港への人の流れをつくってほしい
5	空き店舗や公共空間(道路等)の利活用
6	若者が興味をもつようなものを設置してほしい

【参考】整備検討図(駅周辺整備のみの場合)



【参考】整備検討図（関連整備ありの場合）

